

青島の亜熱帯の植物

青島には独特の植生が広がっています。それには、北で育つのが稀な熱帯や亜熱帯の植物も含まれます。こうした植物がこの島で育つのは、東シナ海から暖流の黒潮が青島を通過して日本の太平洋側に沿って瀬戸内海に向かって北東に流れていくため、気候が温暖で年間降雨量が多いからです。この島に育つ 226 種の植物のうち、27 種は熱帯または亜熱帯の植物で、日本の天然記念物に指定されています。その中でも最も多く見られるのはビロウ (*Livistona chinensis*) で、青島のいたるところに生えています。ビロウは何世紀にもわたって、この島の代名詞的存在になっています。5,000 本ほど生えているビロウの中には、最大で樹齢が 350 年のものまであります。この島に生えるその他の特筆すべき植物には、毒のあるクワズイモ (*Alocasia odora*)、彼岸花の 1 種浜木綿 (*Crinum asiaticum*)、車輪梅 (*Rhaphiolepis umbellata*) などがあります。